

第3章 前期計画の評価

次世代育成支援行動計画 前期計画の評価

計画の達成成果に関する評価指標

計画が実施されることにより、期待される効果、達成される成果について評価を行いました。この評価が前期計画の「めざす姿」「目標」「条件の改善」がどの程度実現できたかどうかの評価になります。

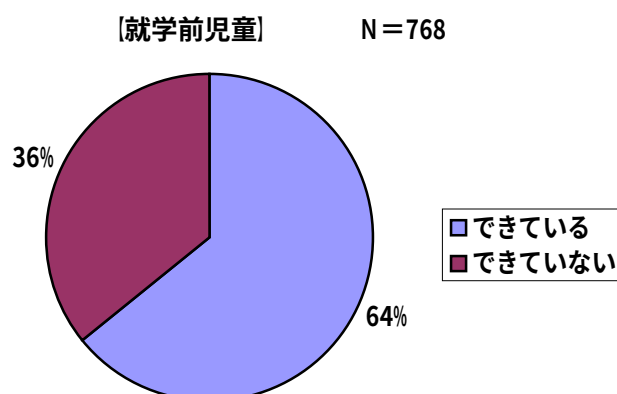
- ① 親同士の交流が活性化されたか
- ② 地域でのサポート体制は充実したか
- ③ 必要な制度・システムは作られたか
- ④ 関係機関の連携は充実したか
- ⑤ ①～④の成果として、子育てに対する満足感、充実感が向上したか

① 親同士の交流が活性化されたか

(次世代育成支援行動計画 子育て支援に関する意向調査結果より)

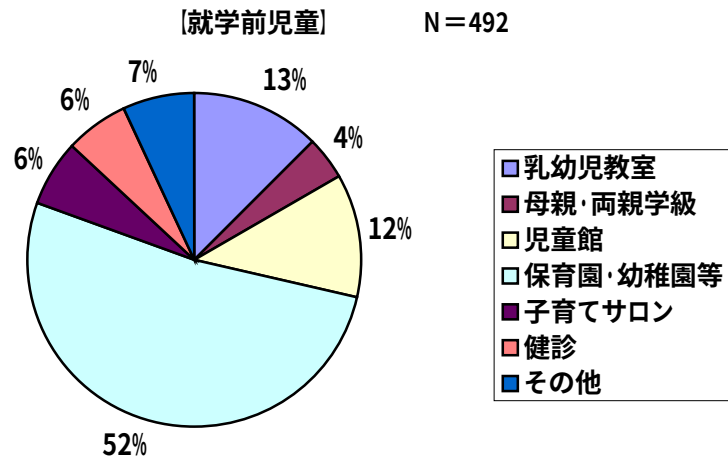
問 親同士の交流ができているか

親同士の交流が「できている」が64%、「できていない」が36%です。



問 どのようなところで交流ができるか

「保育園・幼稚園等」が 52%で最も多く、次に「乳幼児教室」が 13%、「児童館」が 12%となっています。それ以外の交流場所は、10%未満となっています。



考察

交流できていると感じている親が 64%あり、半数以上は交流できています。交流できていないと答えた親は、地域にまだ慣れていない人や仕事を持っているため交流する時間が持てない人が考えられます。

親が地域で孤立しないように乳幼児健診などの機会を通して乳幼児教室、ミルキーキッズ、おやこＹＹひろば、青波福祉プラザなどの交流の場や相談のできる場所の情報提供をしていく必要があります。

② 地域でのサポート体制は充実したか

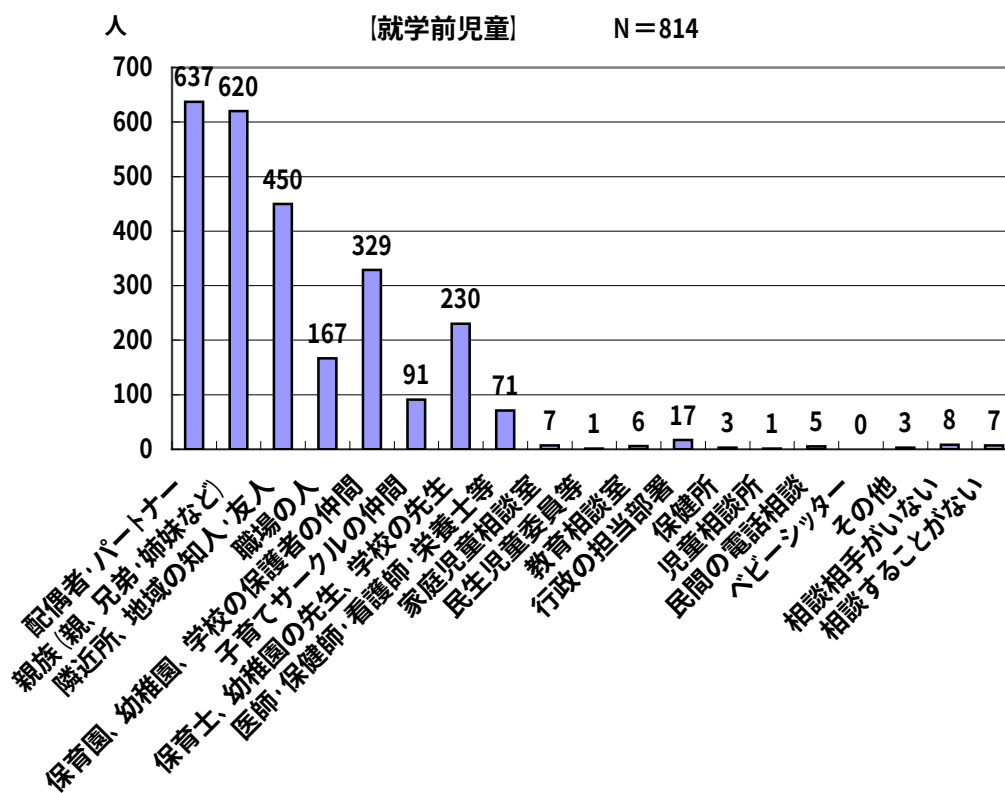
問 身近な地域で子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか

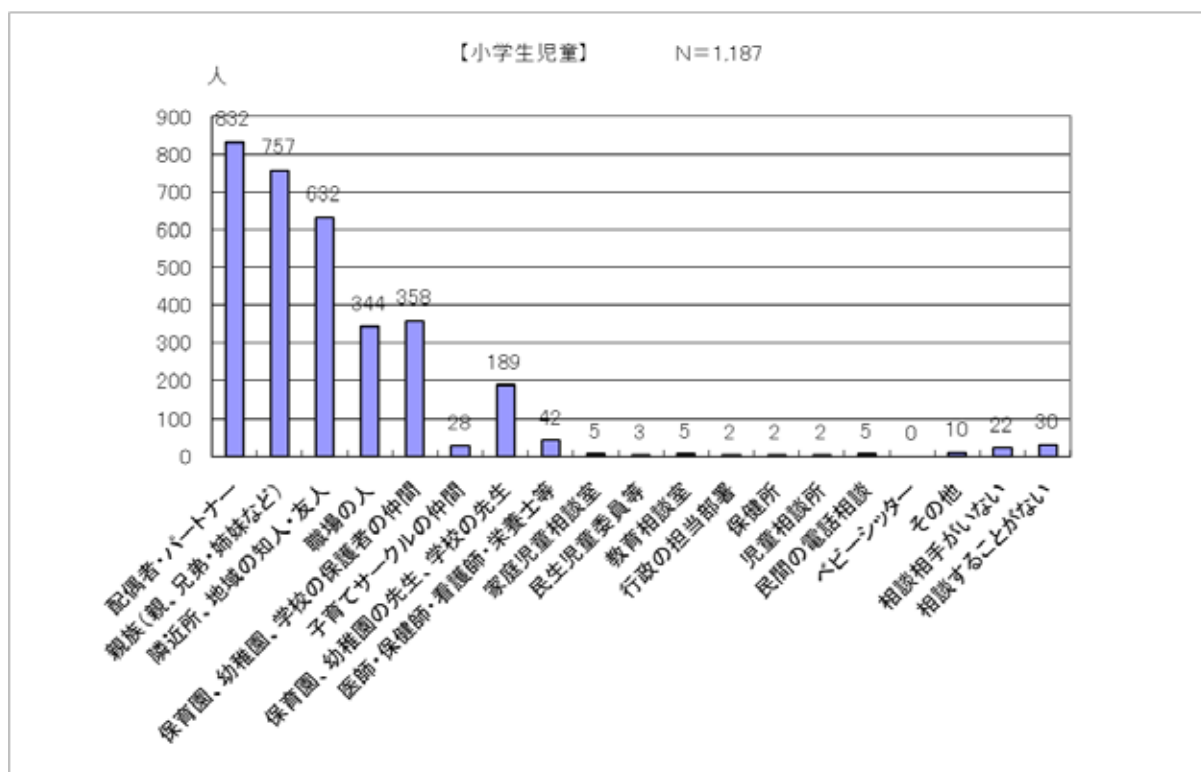
【就学前児童】

「配偶者・パートナー」が637人と最も多く、次に「親族（親、兄弟・姉妹など）」620人、「隣近所、地域の知人・友人」が450人と半数を超えて高くなっています。さらに「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が329人、「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」が230人となっています。一方、「相談相手がいない」が8人あります。

【小学生児童】

「配偶者・パートナー」が832人と最も多く、次に「親族（親、兄弟・姉妹など）」757人、「隣近所、地域の知人・友人」が632人と半数を超えて高くなっています。さらに「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が358人、「職場の人」が344人となっています。一方、「相談相手がいない」が22人あります。





考察

ほとんどの人は相談する相手があり、地域や職場などでサポートされていることがわかります。また、地域の見守り隊、NPO法人 Kaba's Fam、NPO法人 どんぐり会など、行政だけでなく民間の子育て支援団体もでき地域のサポート体制が充実してきました。

③ 必要な制度・システムは作られたか

P 28 「主な保育、保健、教育、子育て支援サービスの平成 21 年度目標量」参照

考察

安全・安心して預けることができる保育園として、保育士等の専門研修により通常保育の充実を図りました。また、園庭開放や保育園での一時保育などのサービスを拡大しました。

なお、病児・病後児保育事業についても、保護者のニーズは高いため、平成 22 年度から広域的に実施していくことになりました。

妊婦に対しての保健指導として、妊婦教室等を実施していましたが、参加者が少ないことにより、支援や指導が必要な妊婦の個別指導を実施するように計画を変更しました。早期から妊婦に関わることにより信頼関係が築くことができ、出産後の育児支援のサポート体制をつくることできるようになりました。

また、赤ちゃん訪問は、平成 20 年度から全戸を訪問するようになり、早期に情報が把握でき適切な支援ができるようになりました。

④ 関係機関の連携は充実したか

考察

子育て支援ネットワーク協議会では、当初のメンバーに民間の子育て支援団体のメンバーを加え連携が図りやすくなっています。その他、食育推進プログラム連絡会議・口腔保健協議会・要保護児童対策地域協議会などでは、医療機関や学校、保育園、幼稚園、子育て支援センター、子育て支援団体、警察署など必要な関係機関との連携を図っています。

これにより、個別での連携も充実してきています。

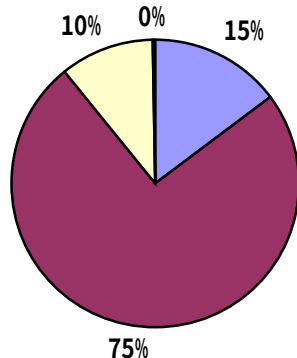
⑤ ①～④の成果として、子育てに対する満足感、充実感が向上したのか

1) 満足度指標 (次世代育成支援行動計画 子育て支援に関する意向調査結果より)

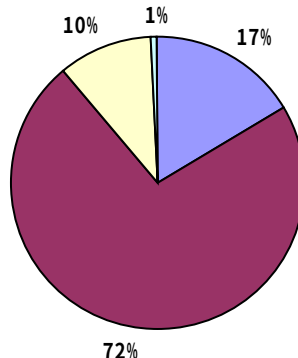
問 子育ては楽しいですか

平成16年2月

[就学前児童] N=802



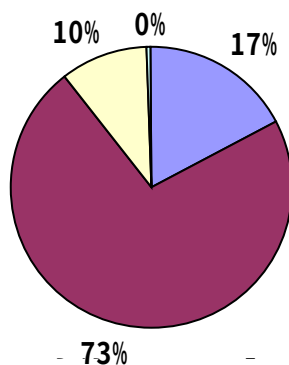
[小学生児童] N=1,161



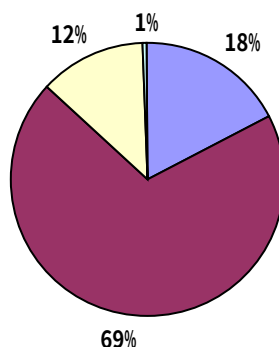
■ とても楽しい
■ つらいこともあるが楽しいことが多い
■ 楽しいこともあるがつらいことが多い
■ とてもつらい

平成21年1月

[就学前児童] N=805



[小学生児童] N=1,147



■ とても楽しい
■ つらいこともあるが楽しいことが多い
■ 楽しいこともあるがつらいが多い
■ とてもつらい

「とても楽しい」と答えた親は、平成15年度では就学前児童の親15%、小学生児童の親17%でしたが、平成20年度では、就学前児童の親17%、小学生児童の親18%で微増しています。

「つらいこともあるが楽しいことが多い」を含めると平成15年度では就学前児童の親90%、小学生児童の親89%、平成20年度では就学前児童の親90%、小学生児童の親87%で、割合に差はみられませんでした。

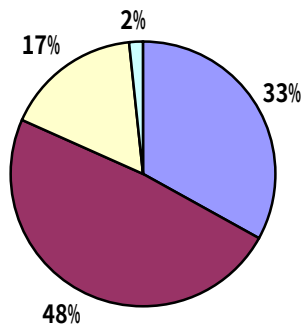
2) 生活の質（QOL）指標

問 ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がありますか。

平成16年2月

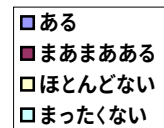
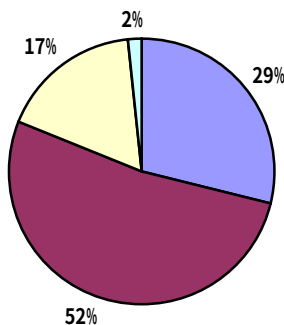
〔就学前児童〕

N=805



〔小学生児童〕

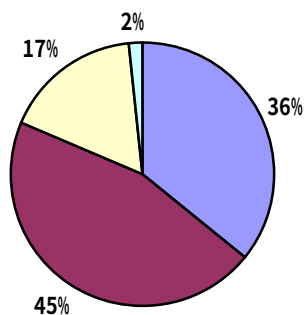
N=1,173



平成21年1月

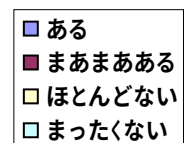
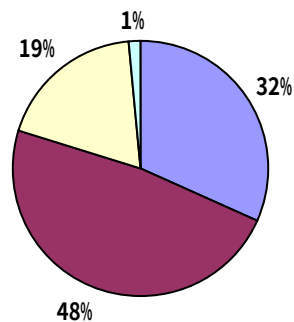
〔就学前児童〕

N=813



〔小学生児童〕

N=1,157



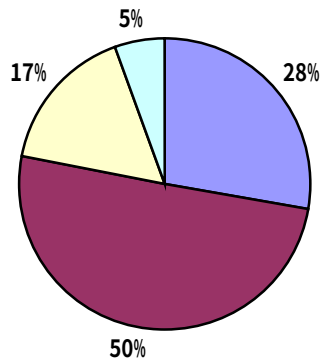
「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある」と答えた親は、平成15年度では就学前児童の親33%、小学生児童の親29%でしたが、平成20年度では、就学前児童の親36%、小学生児童の親32%でそれぞれ3%増えています。

「まあまあある」を含めると平成15年度では就学前児童の親81%、小学生児童の親81%、平成20年度では就学前児童の親81%、小学生児童の親80%で、割合に差はみられませんでした。

問 仕事と子育ての両立は大変ですか

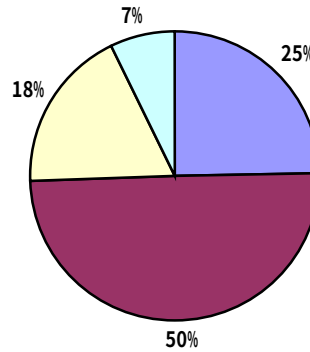
平成16年2月

就学前児童 N=459



[小学生児童]

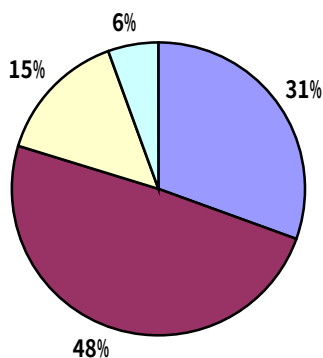
N=908



■ とても大変である
■ どちらかといえば大変である
■ どちらかといえば大変でない
■ 大変ではない

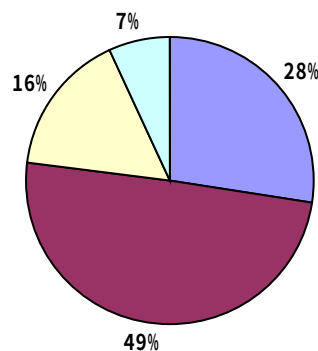
平成21年1月

[就学前児童] N=492



[小学生児童]

N=910



■ とても大変である
■ どちらかといえば大変である
■ どちらかといえば大変でない
■ 大変ではない

「仕事と子育ての両立が大変」と答えた親は、平成15年度では就学前児童の親78%、小学生児童の親75%でしたが、平成20年度では、就学前児童の親79%、小学生児童の親77%となっています。

目標では、平成21年度にはできるだけ減らすことになっていますが、大変だと思っている親の割合にあまり変化はみられませんでした。

3) 統計・健康に関する指標

● 少子化の進行の鈍化

人口

区 分	平成17年4月1日現在			平成21年4月1日現在		
	人 口			人 口		
	計	男	女	計	男	女
岐 阜 県	2,116,651	1,024,607	1,092,004	2,090,128	1,012,143	1,077,985
山 県 市	31,298	15,349	15,949	30,198	14,767	15,431

(住民基本台帳より)

県、山県市とも人口は、平成 17 年に比べ平成 21 年は減少しています。山県市の人口は、1,100 人減少しています。

● 出生数・率の推移

年次別出生数・率 (人口千対)

	平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
全 国	1,110,721	8.8	1,062,530	8.4	1,092,674	8.7	1,089,818	8.6	1,091,156	8.7
岐 阜 県	18,363	8.7	17,706	8.6	18,092	8.8	17,696	8.6	17,506	8.5
岐 阜 市	3,582	8.9	3,460	8.6	3,706	9.0	3,523	8.5	3,624	8.8
関 市	721	9.6	776	8.4	799	8.6	800	8.7	813	8.8
山 県 市	191	6.3	193	6.4	193	6.4	184	6.2	190	6.4
瑞穂市	618	12.5	585	11.7	665	13.2	592	11.6	623	12.1
本巣市	296	8.6	307	8.9	303	8.7	316	9.1	313	9.0
北方町	211	11.9	189	10.8	189	10.6	190	10.6	214	11.9

出生率は、平成 16 年が、6.3 でしたが、平成 20 年は、6.4 となっており、横ばい状態となっています。全国や県、近隣の岐阜市、関市などに比べ低くなっています。

● 婚姻数・率の推移

年次別婚姻数・率（人口千対）

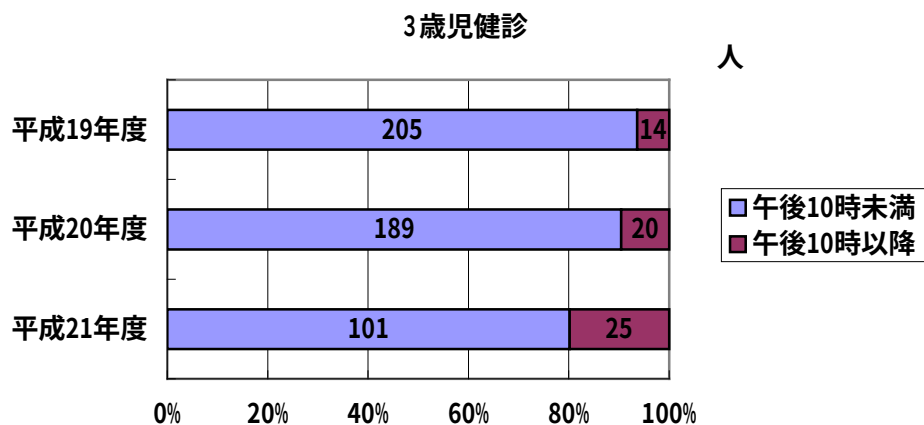
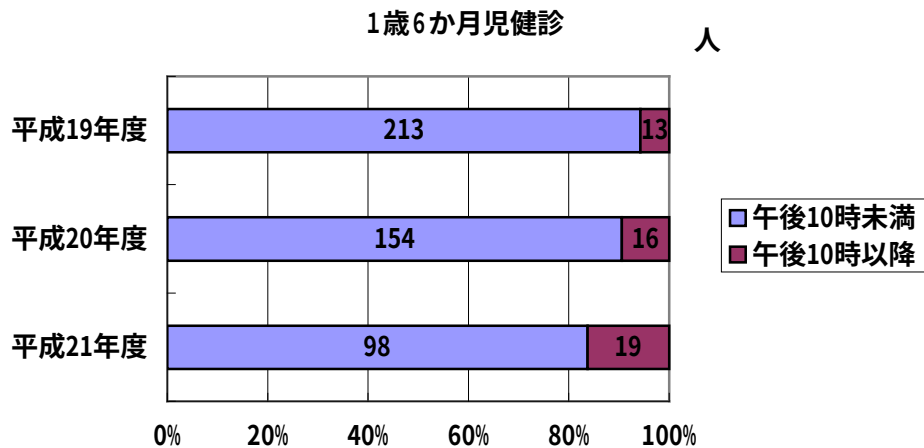
	平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
全 国	720,417	5.7	714,265	5.7	730,971	5.8	719,822	5.7	726,106	5.8
岐 阜 県	10,944	5.2	10,512	5.1	10,772	5.1	10,687	5.2	10,919	5.3
岐 阜 市	2,273	5.6	2,192	5.5	2,344	5.7	2,306	5.6	2,393	5.8
関 市	418	5.5	471	5.1	464	5.0	506	5.5	470	5.1
山 県 市	128	4.2	155	5.1	131	4.3	112	3.7	119	4.0
瑞穂市	385	7.8	354	7.1	340	6.8	335	6.6	365	7.1
本 巢 市	180	5.2	135	3.9	143	4.1	170	4.9	132	3.8
北 方 町	112	6.3	115	6.6	125	7.0	105	5.9	140	7.8

婚姻率は、全国、県、近隣の岐阜市や関市などに比べ低くなっています。山県市の婚姻率の推移は、上昇したり減少したり変動はありますが、平成16年と平成20年では、割合にそれほど変化はみられませんでした。

● 規則的な生活ができている子どもの増加

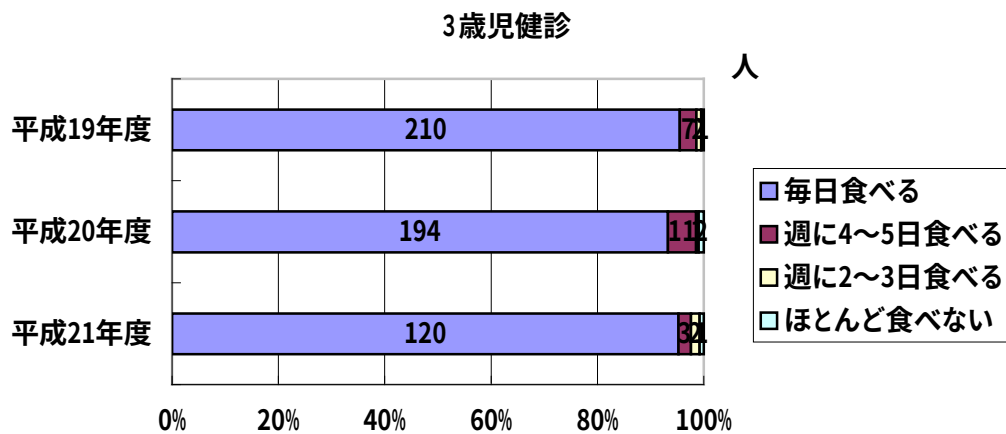
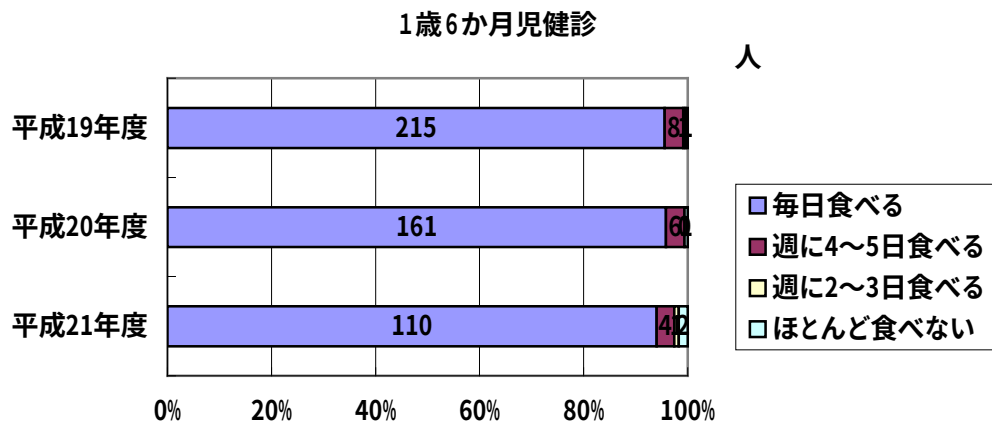
(乳幼児健診問診項目より、平成 21 年度は、11 月末現在)

就寝時間



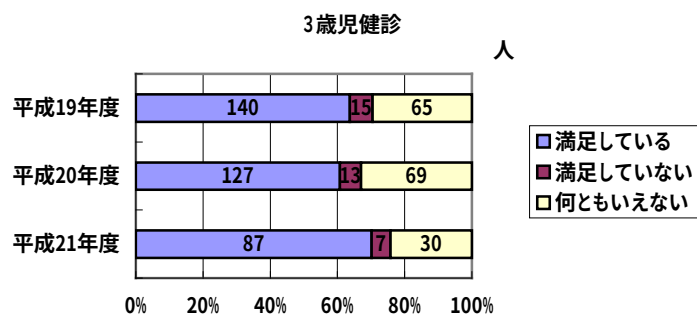
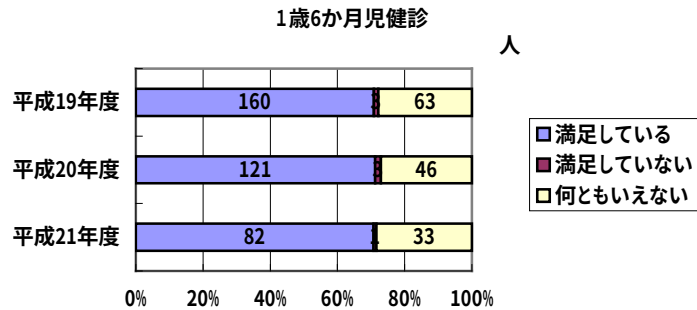
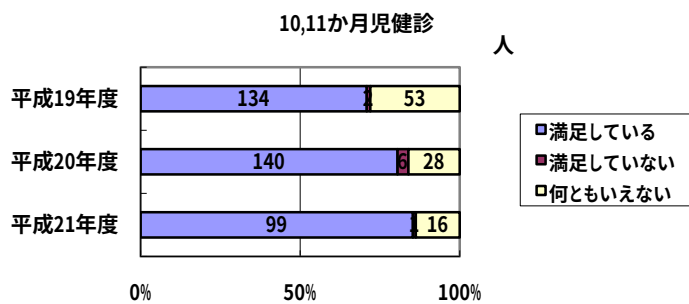
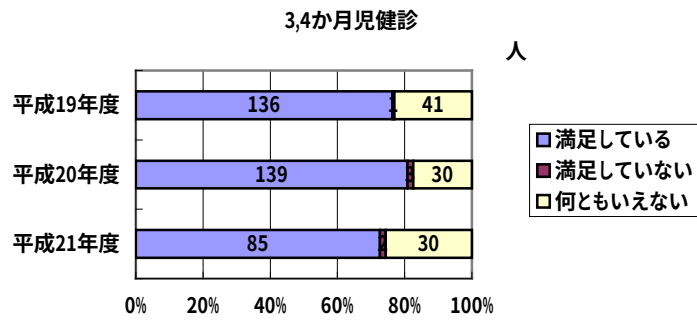
1歳6か月児、3歳児とも年々10時以降に就寝する割合が増えてきており、平成21年度では、約2割は夜型の生活になっています。規則正しい生活が送れるよう、更に生活習慣の見直しが必要となります。

朝食の摂り方

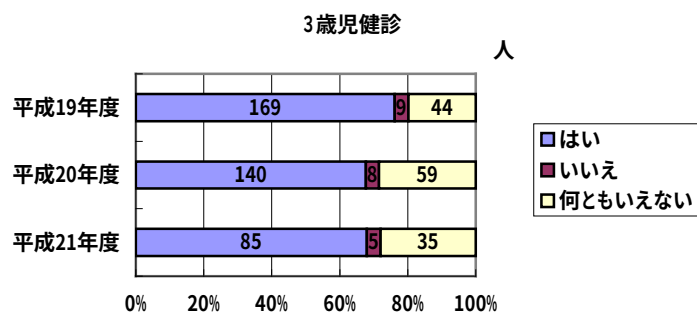
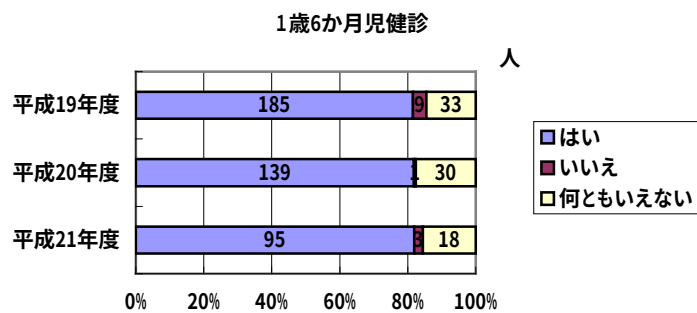
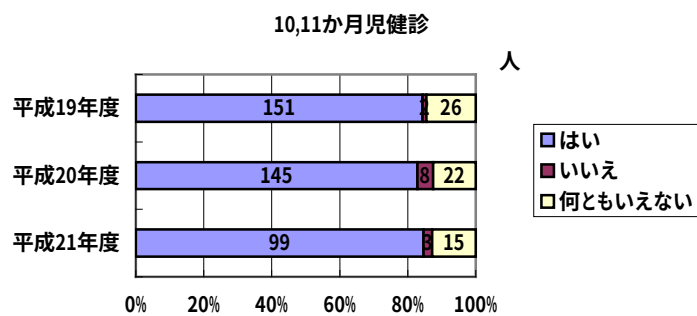
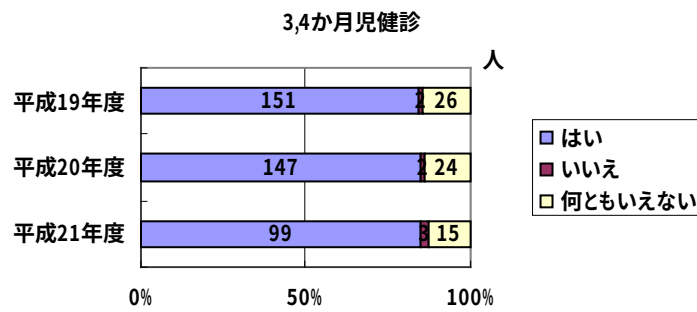


朝食を摂る割合は、1歳6か月児、3歳児とも95%以上となっています。しかし、朝食を欠食する幼児もあるため、更に生活習慣を整えていく必要があります。

● 現在の子育ての状況はいかがですか？



● お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか



年齢が上がるにつれて、今の子育ての状況に「満足していない」割合が増え、3歳児健診が一番多くなっている。「何ともいえない」も年齢が高くなるにつれ、増加傾向にある。

ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間は、年齢が上がると「はい」と答える割合が低くなっている。「何ともいえない」と答える割合は、年齢が高くなるにつれて、増加している。「いいえ」と答えている割合は、3歳児健診が一番多くなっている。

主な保育、保健、教育、子育て支援サービスの平成21年度目標量

事業	現 状	推定ニーズ量	平成21年度目標量	平成21年度実施見込
通常保育事業	定員890人 保育数765人	739人	定員820人	10か所 平日8:30～16:30 土 8:30～12:30 定 員 800人 保育児童数 700人
特定保育事業	未実施	1人	定員3人	未実施
延長保育事業	101人	231人	定員270人	10か所 平日7:30～19:00 土 7:30～12:30 月利用延 30人 随時利用延 700人 11時間を超えての利用見込 0人
夜間保育事業	—	—	—	未実施
トワイライトステイ事業	—	—	—	1か所 児童養護施設「若松学園」へ委託
休日保育事業	未実施	19人	定員20人	未実施（要検討）
病児・病後児保育事業	未実施	4人	定員4人	未実施（要検討）
放課後児童健全育成事業	50人	100人	定員100人	2か所で実施 142人登録 高富児童館、子どもげんきはうす
地域子育て支援拠点事業 （ひろば型、センター型、児童館型）	—	—	—	1か所 NPO法人 Kaba's Famへ委託
一時預かり事業	未実施	4人	定員4人	10か所 6保育園 40人 500時間
ショートステイ事業	—	—	—	1か所 児童養護施設「若松学園」へ委託
ファミリーサポートセンター事業	1か所		1か所	1か所(子育て支援センターにて実施 依頼会員19人、援助会員20人)
子育て支援センター	未実施		1か所	1か所(子どもげんきはうす内)平成17年開設
乳幼児健診 3・4か月児健診 10・11か月児健診 1歳6か月児健診 3歳児健診	受診率 96.6% 未受診者はすべて 95.5% 電話か訪問し状況 93.0% 確認している 93.0%	各健診受診率90%以上未受診者は100%電話か訪問でフォローされる	現状の健診受診率を維持し未受診者把握を100%に	受診率 95.0% } 未受診者はすべて 95.0% } 電話か訪問し状況 95.0% } 確認をする。 95.0%
妊婦相談	H15年度 204人		全妊婦対象	200人
妊婦一般健康診査	受診券発行者204人 受診券使用者延402人		全妊婦受診	受診券発行者 200人 受診券使用者延 2,200人 (妊婦1人当たり14枚発行)
マタニティクラス（妊婦教室）	H15年度 3回開催延31人出席		年3回開催 延40人参加	平成21年度より廃止
ママパクラス（両親居室）	H15年度 3回開催延46人出席		年3回開催 延50人参加	（ハイリスクな妊婦に対しては窓口や訪問にて個別に対応する。）
ママパパOB会	H16年度 1回開催		年3回実施	

事業	現 状	推定ニーズ量	平成21年度目標量	平成21年度実施見込
赤ちゃん訪問	第一子は全員、二子以降は希望者 H15年度 延64件		第一子は全員、二子以降は希望者	第一子及びハイリスク 80件 第二子以降 110件
乳幼児訪問・未熟児訪問	H15年度 延37件		未熟児は全員訪問、その他訪問が必要とされる乳幼児(健診未受診者、要経過観察者)	延230件 (保育園等の施設訪問も含む)
乳幼児相談	H15年度 18回開催 241人		年18回開催し、住民の育児不安等の解消に努める	年間12回開催(3地区巡回) 延300人
育児電話相談	H15年度 延88件		相談を希望されるすべての方	延50件
すこやか相談	H15年度 12回開催延13件		必要に応じて必要な時期に相談が受けられるようにする	12回開催 延36人
ミルキーキッズ(乳幼児教室)	H15年度 2クール延20回延282人	年間出生数の30%	年3クール 25人ずつ 延525人	年3クール 25人ずつ 延525人
ミルキーママボランティア育成	H16年度登録36人		必要に応じ育成するが、現任教育に力を入れる	登録67人 子育てボランティア養成講座5回コース開催
フッ化物洗口	市内全小中学校・年長児 97%		市内全小中学校・年長児 98%以上	市内全小中学校・年中・長児 98.8%
血液検査事後指導の実施	全学校実施		全学校実施	平成19年度より廃止 (保護者への健康教育を実施)
性教育、喫煙・薬物乱用防止教育の実施	全学校実施		全学校実施	全中学校で実施 希望者には出前講座を実施。
家庭教育支援(乳幼児)	学級生 高 富 70組 美 山 35組 伊自良 20組		乳幼児とその保護者	学級生 高 富 80組 美 山 30組 伊自良 20組
読み聞かせ	幼児期～少年期の児童		幼児期～少年期の児童	幼児期～少年期の児童
やまがた子ども文化クラブ	小学生比13%	小学生比20%	小学生比20%	小学生比12%
青少年国際交流	青少年の海外派遣及び外国人受け入れ(ホームステイ)の実施		青少年の海外派遣及び外国人受け入れ(ホームステイ)の実施	未実施
教育相談員による相談活動	平成16年度 10月末までに延5,000件		問題を抱え相談が必要な全ての児童生徒	問題を抱え相談が必要な全ての児童生徒
生活相談員による児童生徒への指導援助	不登校の児童生徒又は生徒指導上集団での生活に適應できない児童生徒		不登校の児童生徒又は生徒指導上集団での生活に適應できない児童生徒	不登校の児童生徒又は生徒指導上集団での生活に適應できない児童生徒
中学校生徒海外派遣事業	平成16年度は中学2・3年生計50人をオーストラリアへ派遣		実施予定	未実施
総合型地域スポーツクラブ活動支援	H15年度会員 1,253人		幼年期～高齢者の希望者	幼年期～高齢者の希望者